

渡島・檜山地方の気象

平成23年冬（12月～2月）のまとめ（2011年）

函館海洋気象台

平成23年3月31日

◎ 平成23年冬（12～2月）の天候 — 「高温・並雨（並雪）・多照」

【気温】

3か月の平均気温は $-2.9\sim 0.9^{\circ}\text{C}$ で、平年差は $+0.2\sim +0.8^{\circ}\text{C}$ となり、長万部・函館市川汲・北斗・函館市美原・松前・八雲町熊石・せたな町瀬棚・今金・江差で平年より高く、そのほかの観測点では平年並だった。

【降水量】

3か月の降水量合計は $92.5\sim 655.0$ mm で、平年比は $49\sim 128\%$ となり、せたな町瀬棚で平年よりかなり少なく、八雲町熊石・厚沢部町鶉では平年より少なく、八雲町八雲・函館市川汲・木古内・七飯町大沼・江差では平年より多く、福島町千軒では平年よりかなり多く、そのほかの観測点では平年並だった。

【日照時間】

3か月の日照時間合計は $152.7\sim 338.5$ 時間で、平年比 $105\sim 139\%$ となり、すべての観測点で平年より多く、長万部・函館市川汲・木古内・松前・八雲町熊石・せたな町瀬棚・今金・厚沢部町鶉・江差では平年よりかなり多かった。

注：数値に付く) は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 月ごとの概況

【12月】「高温・多雨（並雪）・寡照」

この期間の天気は、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雪または雨の日が多く、下旬は真冬並の寒気が入り強い冬型の気圧配置で大雪となった日もあった。

月平均気温は平年より高く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より多く、月間日照時間は一部を除いて平年並～平年より少なかった。

【1月】「低温・少雨（多雪）・多照」

この期間の天気は、冬型の気圧配置になることが多く雪が降ったが、晴れた日もあった。

また、低気圧が通過し大雪となった日もあった。

月平均気温は平年より低く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より少なく、月間日照時間は平年並～平年より多かった。

【2月】「高温・少雨（少雪）・多照」

この期間の天気は、冬型の気圧配置が持続せず数日の周期で変わり、低気圧や気圧の谷の影響で雪や雨が降ったが、高気圧に覆われ晴れる日もあった。

月平均気温は平年より高く、月降水量は一部を除いて平年より少なく、月間日照時間は平年より多かった。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）における
平成 23 年冬（12～2 月）の各種資料

○ 気候表

	気温		降水量		日照時間	
	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (時間)	平年比 (%)
函 館	-1.1	+0.8 (高い)	202.0	96 (平年並)	331.4	105 (多い)
江 差	0.6	+0.7 (高い)	283.5	114 (多い)	164.1	126 (かなり多い)

※ 平年比（差）の括弧付の値は階級を示す。

○ 極値・順位更新表（統計開始以来 3 位までの記録）

官署名	要素名	順位	観測した値		従来の順位の値 現在の極値		統計 開始年
			起日	起年月日			
函 館	12 月における 日最低気温の高い方から	3	8.5°C	12 月 3 日	7.9°C 10.4°C	2004. 12. 4 1929. 12. 17	1872 年
	1 月における 降雪の深さ月合計	2	150cm	1 月	146cm 156cm	1998. 1 2010. 1	1953 年
	2 月における 日最高気温の高い方から	3	11.5°C	2 月 24 日	11.1°C 13.6°C	1992. 2. 29 2010. 2. 25	1873 年

○ 降雪量・最深積雪

	12 月		1 月		2 月		冬合計		冬最深積雪	
	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	(cm)	平年比 (%)
函 館	100	111	150	126	61	60	311	101	50	114
江 差	2]	×	16]	×	61	60	79]	×	28]	×

注：数値に付く] は、統計した期間に一定の割合以上の欠測が含まれていることを示す。

：×は統計資料なしを示す。

○ 真冬日の日数

	12 月		1 月		2 月		冬合計	
	日数	平年差	日数	平年差	日数	平年差	日数	平年差
函 館	4	-3	18	+4	3	-7	25	-6
江 差	2	-2	16	+5	3	-6	21	-4

※ 平年差は、本年の日数から平年値の小数第 1 位を四捨五入した整数値を引いた値。

四捨五入の関係で各月の平年差の合計と冬合計の平年差は、一致しないことがある。

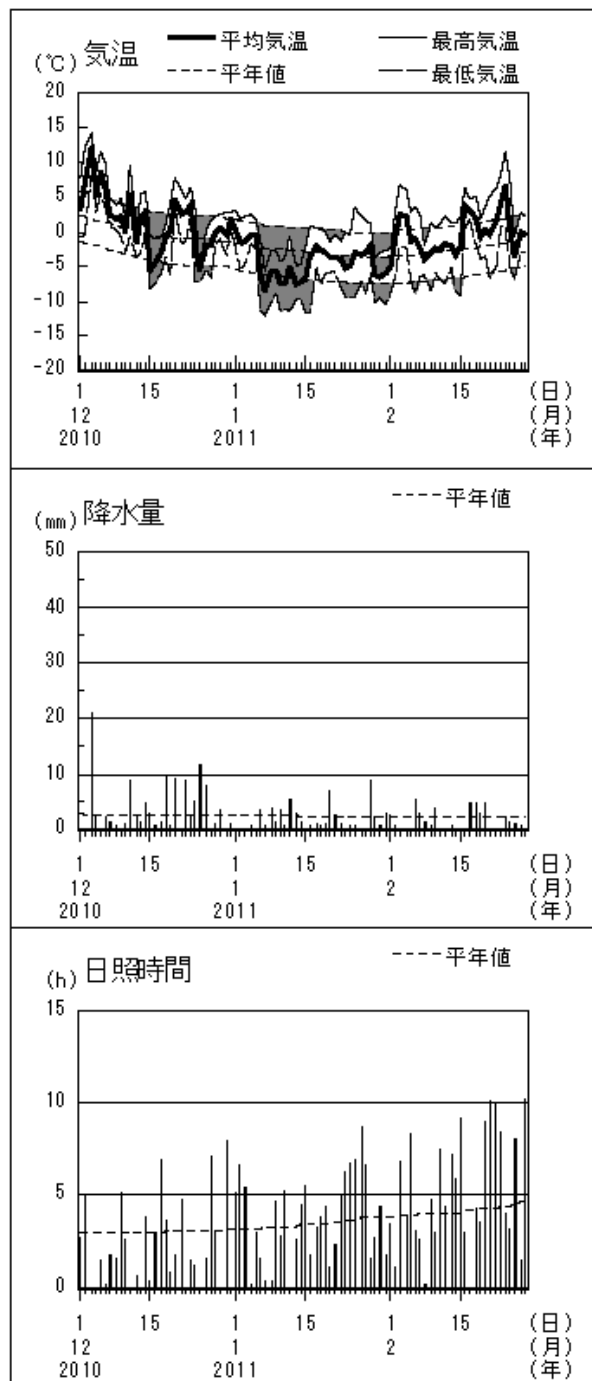
◎ 異常気象および気象災害発生状況

12月3日 【渡島地方】 強風害 浸水害 海上波浪害 沿岸波浪害	前線を伴った低気圧が日本海を発達しながら北上し北海道へ接近した。 このため渡島地方は気圧の傾きが急で風が強く、まとまった雨が降った。 これにより、函館市で強風にあおられ転倒し骨折するなど負傷者2名のほか、住宅や建物14棟でトタンがはがれるなどの住家被害や街路樹・街灯の倒壊被害が発生し、フェリー欠航、函館ロープウェイ運転見合わせるなど交通障害が発生した。また、北斗市で大雨のため9棟が床下浸水した。
12月25日 【渡島地方】 強風害 積雪害 雪圧害 海上波浪害	発達した低気圧がサハリン付近に停滞し、真冬並の強い寒気が入り強い冬型の気圧配置となった。 これにより、渡島地方の広域で、積雪・雪圧および強風のためビニールハウス全壊や倒壊など481か所で被害が発生したほか、フェリーの欠航、航空機の欠航・遅延、JRの運休・遅延などの交通障害が発生した。
1月28日 【渡島地方】 海上波浪害	津軽海峡を低気圧が通過していた。 これにより、函館市えさん漁協所属のごっこ刺し網漁船(0.9トン)が、函館市山背泊漁港沖で転覆しているのを函館海上保安部の巡視船が発見、乗組員2名を収容したがいずれも病院で死亡が確認された。

◎ 気象経過図

地上気象：2010年12月1日-2011年2月28日

函館



江差

